

第5節 指標の進捗状況

「健康おとふけ21」（計画期間：平成26年度～35年度）で設定した項目について、今回実施した「健康づくりアンケート」等のデータを基に、計画策定時との値と比較し評価を行いました。

評価は、「A:目標値に達した」、「B:改善傾向」、「C:変化なし」、「D:悪化傾向」、「E:評価困難」の5種類で整理しました。

	全体	割合
目標値に達した	2	4.5%
改善傾向	4.5	10.2%
変化なし	17	38.7%
悪化傾向	10.5	23.9%
評価困難	10	22.7%
合計	44	100.0%

※男女で評価が異なるものは、それぞれを0.5として計上しています。

分野	指標名	計画策定時		中間評価時			目標値			目標値設定の考え方	出典
		時点	数値等	時点	数値等	策定時との変化	時点	新目標値	旧目標値		
がん	①悪性新生物の標準化死亡率（SMR）の減少	H22年	男性97.7 女性100.1	H29年度	男性92.6 女性101.8	男性B、女性C	H35年	減少	同左		⑩
	②がん検診受診率の向上										
	・胃がん	H24年度	12.5%	H29年度	男性7.4% 女性8.1%	E	H35年度	40.0%	同左		①
	・肺がん	H24年度	12.2%	H29年度	男性4.8% 女性5.3%	E	H35年度	40.0%	同左		①
	・大腸がん	H24年度	15.7%	H29年度	男性5.2% 女性5.6%	E	H35年度	40.0%	同左		①

分野	指標名	計画策定時		中間評価時			目標値			目標値設定の考え方	出典
		時点	数値等	時点	数値等	策定時との変化	時点	新目標値	旧目標値		
がん	・子宮頸がん	H24年度	36.0%	H29年度	18.5%	E	H35年度	50.0%	同左		①
	・乳がん	H24年度	31.5%	H29年度	21.2%	E	H35年度	50.0%	同左		①
循環器疾患	①脳血管疾患・虚血性心疾患の標準化死亡比の現状維持										
	・脳血管疾患	H12-H21	男性 71.2 女性 53.4	H18-H27	男性 62.3 女性 58.7	男性B、女性D	H35年度	標準化死亡比の現状維持	同左		⑩
	・虚血性心疾患	H12-H21	男性 92.3 女性 66.0	H18-H27	男性 106.5 女性 84.0	D	H35年度				⑩
	②高血圧の改善 収縮期血圧 160mmHg 以上又は、拡張期血圧 100mmHg 以上の未治療の減少	H24年度	65.3%	H29年度	50.0%	C	H35年度	減少	同左		②
	③脂質異常症の減少										
	・LDLコレステロールの 160mg/dl 以上の者の割合	H24年度	11.8%	H29年度	9.95%	B	H35年度	減少	同左		②
	④メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	H24年度	26.0%	H29年度	31.3%	C	H35年度	減少	同左		②
	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上									第3期音更町特定健康診査等事業計画に基づくもの	
	・特定健康診査の実施率	H24年度	26.7%	H29年度	47.8%	B	H35年度	60.0%	同左		②
	・特定保健指導の実施率	H24年度	31.7%	H29年度	69.8%	A	H35年度	75.0%	60.0%		②
糖尿病	①合併症（糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数）の減少	H24年度	4人	H29年度	5人	C	H35年度	減少	同左		③
	②治療継続者の割合の増加	H24年度	53.6%	H29年度	73.8%	C	H35年度	増加	同左		②

分野	指標名	計画策定時		中間評価時			目標値設定の考え方			目標値設定の考え方	出典
		時点	数値等	時点	数値等	策定時との変化	時点	新目標値	旧目標値		
糖尿病	③血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少（HbA1cがJDS値8.0（NGSP値8.4%）以上の者の割合の減少）	H24年度	0.9%	H28年度	1.8%	D	H35年度	現状維持	同左		②
	④糖尿病有病者の増加の抑制	H24年度	有病率8.1%	H29年度	有病率9.1%	D	H35年度	減少	同左		②
COPD	①COPDの認知度の向上	H25年度	35.9%	H30年度	39.2%	C	H35年度	増加	同左		⑦
次世代の健康	①適正体重を維持している者の増加（肥満、やせの減少）										
	・20歳代女性のやせの者の割合	H25年度	19.0%	H30年度	17.2%	C	H35年度	現状維持	同左		⑦
	・全出生数中の低出生体重児の割合の減少	H23年	8.3%	H29年	10.4%	C	H35年度	減少傾向へ	同左		⑧
	・肥満傾向にある子どもの割合の減少（小学校5年生の肥満傾向児の割合）	H24年度	男子18.4% 女子8.36%	H29年度	男子13.6% 女子10.3%	男子B 女子C	H35年度	減少傾向へ	同左		⑨
高齢者の健康	①介護保険サービスを必要とする者の増加の抑制（要介護（要支援）認定数）	H23年度	1,745人	H28年度	2,194人	C	H32年度	2,748人	-	第7期音更町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	⑫
	②認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上	H23年度	11.9%	-	-	E	-	-	-		
	③ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している町民の割合の増加	H25年度	19.5%	H30年度	23.6%	C	H35年度	増加	同左		⑦

分野	指標名	計画策定時		中間評価時			目標値設定の考え方			目標値設定の考え方	出典
		時点	数値等	時点	数値等	策定時との変化	時点	新目標値	旧目標値		
高齢者の健康	④BMI 18.5 以下の高齢者の割合の増加の抑制⇒BMI 20.0 以下の高齢者の割合の抑制	H23 年	参考 BMI18.5 以下の高齢者 ・一般高齢者 5.1% ・要介護高齢者 9.1%	H29 年度	13.4%	E	H35 年度	現状維持又は減少	同左		②・⑪
	⑤認知症サポーター数の増加(新規)		-	H29 年度	5,642 人	E	H35 年度	増加	同左		⑫
生活習慣の改善	栄養・食生活										
	①適正体重を維持している者の増加(肥満(BMI 25 以上)、やせ(BMI 18.5 未満)の減少)										
	・20 歳～60 歳代男性の肥満者の割合	H25 年度	37.2%	H30 年度	37.4%	C	H35 年度	減少	同左		⑦
	・40 歳～60 歳代女性の肥満者の割合	H25 年度	17.9%	H30 年度	21.3%	C	H35 年度	現状維持	同左		⑦
	②適切な量と質の食事をとる者の増加										
	ア 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	H25 年度	49.6%	H30 年度	43.2%	D	H35 年度	増加	同左		⑦
	イ 野菜と果物の摂取量の増加										
	・野菜摂取量の平均値(1日 300g 以上食べている者の率)	H25 年度	10.2%	H30 年度	11.9%	C	H35 年度	増加	同左		⑦
・果物摂取量 100g 未満の者の割合	H25 年度	41.5%	H30 年度	47.4%	C	H35 年度	減少	同左		⑦	

分野	指標名	計画策定時		中間評価時			目標値設定の考え方			目標値設定の考え方	出典	
		時点	数値等	時点	数値等	策定時との変化	時点	新目標値	旧目標値			
生活習慣の改善	身体活動・運動											
	①運動習慣者の割合の増加											
	・20歳～64歳	H25年度	31.4%	H30年度	24.6%	D	H35年度	増加	同左		⑦	
	休養											
	①睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少	H25年度	36.7%	H30年度	37.7%	C	H35年度	減少	同左		⑦	
	飲酒											
	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上）の割合の減少	H25年度	男性17.2% 女性3.8%	H30年度	男性18.7% 女性10.4%	男性C 女性D	H35年度	男性15.9% 女性8.8%	減少	国と同様の減少率（現状値の15%）を用いて設定		⑦
	②妊娠中の飲酒をなくす	H24年度	8.4%	H29年度	1.2%	C	H35年度	0%	同左		④	
	喫煙											
	①成人の喫煙率の減少（喫煙をやめたい者がやめる）	H25年度	27.1%	H30年度	24.6%	C	H35年度	減少	同左		⑦	
②妊娠中の喫煙をなくす	H24年度	7.0%	H29年度	4.2%	C	H35年度	0%	同左		④		
③受動喫煙（家庭）の機会を有する者の割合の減少	H25年度	家庭16.7%	H30年度	家庭22.5%	D	H35年度	減少	同左		⑦		

分野	指標名	計画策定時		中間評価時			目標値設定の考え方			目標値設定の考え方	出典
		時点	数値等	時点			時点	新目標値	旧目標値		
生活習慣の改善	歯・口腔の健康										
	①歯の喪失防止										
	ア 60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加（55歳～64歳）	H25年度	57.5%	H30年度	45.4%	C	H35年度	増加	同左		⑦
	イ 40歳で喪失歯の無い者の割合の増加	H25年度	58.0%	H30年度	68.1%	E	H35年度	増加	同左		⑦
	②乳幼児でう蝕の無い者の増加										
	・3歳児健診でう蝕の無い者の割合の増加	H24年度	75.6%	H29年度	88.1%	A	H35年度	90%以上	90%以上	目標値達成のため	④
こころの健康		H20-H22の自殺の平均		H24-H28の自殺の平均			H29-H33の自殺の平均			全国同様、自殺率30%以上の減少	
	・自殺者の減少（人口10万あたり）		10人		5人	B	H35年度	3.5人	-		
	・平均自殺率		-		11.1	E	H35年度	7.8	-		⑧
	・睡眠で疲れが取れていない人の割合【再掲】	H25年度	36.7%	H30年度	37.7%	C	H35年度	減少	同左		⑦
	・ストレスを大いに感じている人の割合		-	H30年度	25.1%	E	H35年度	減少	-		⑦

※出典 ①地域健康増進事業報告 ②音更町国民健康保険 ③更生医療申請 ④北海道母子保健報告システム事業 ⑤介護保健事業報告 ⑥音更町健康づくりアンケート ⑦人口動態調査 ⑧町学校保健統計 ⑨北海道における主要死因の概要9 ⑩北海道後期高齢者医療広域連合 ⑪第7期音更町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
※SMR（標準化死亡比）

死亡率は、町の健康状態を示す指標の一つですが、国や他の市町村と比較するときには、年齢構成の影響をなくした上で算出される「年齢調整死亡率」が使われます。年齢調整死亡率のうち「年齢調整死亡比（SMR）」が市町村に対し使われます。これは、全国を100とした場合、音更町の死亡率がその何%に当たるのかを示すものです。100を超えている場合は、国よりも死亡率が高いということになります。

※達成状況の評価方法：国立保健医療科学院HP「片側検定による評価結果のための計算・作業シート」